

ぼうさいこくたい2023における 広報イベントの実施について

令和5年8月8日

地震調査研究推進本部事務局

地震本部の広報活動について

- これまでの広報検討部会（第1回～第4回）では、HPの改善やヒアリング・アンケート等を中心に議論を進めてきた。
- あわせて、地震本部の成果を国民に知ってもらうため、地震本部の成果をできる限り多くの国民等の目に触れる機会の創出も考える必要がある。（「地震調査研究推進本部の成果の効果的な普及方策について」H26年3月）
- そこで、防災関係者を中心に多くの参加が見込まれる防災推進国民大会（ぼうさいこくたい）の場を活用し、地震本部の成果を広報するとともに、地震本部の今後について議論する場を設けることとしたい。
- ぼうさいこくたいの場を始めとして、関東大震災当時の調査研究の動向もレビューしながら“過去に学び”、今後、これからの政府の地震調査研究を“次世代につなぐ”議論のきっかけとする。

ぼうさいこくたい2023概要

防災推進国民大会（ぼうさいこくたい）は、自助・共助、多様な主体の連携及び地域における防災力の向上を促進するため、国民の防災意識の向上、災害に関する知識や経験等の共有を図ることを目的とした内閣府主催イベント。

全国から防災関係者が集まり、2022年大会では現地来場者約12000人、オンライン視聴実数11000回。2023年大会で8回目の今年度の大会テーマは「次の100年への備え～過去に学び、次世代へつなぐ～」。

- 開催日時： 2023年9月17日（日）～ 18日（月・祝）
- 開催会場： 横浜国立大学



地震本部からのセッション出展概要

- 出展パターン：セッション 現地＋オンライン
- 出展日時：9月18日（月・祝）10:30-12:00
- 出店場所：S1-2 教育文化ホール
- タイトル：「知ってほしい！活かしてほしい！
政府の地震調査研究～これからどうする！？」

➤ 概要

約100年にわたる政府等の地震調査研究を振り返るとともに、これまでの地震調査研究推進本部（地震本部）の成果を紹介する。

また、地震本部の成果の受け手・情報発信者側の様々なセクターからパネリスト招き、**成果を社会に活かすため**、これからの政府の地震調査研究で何ができるのか、何が求められるのかを議論する。

地震本部からのセッション出展概要

これまでの地震調査研究について話題提供の上、各セクターからのパネリストとこれからの地震調査研究について議論する。

※敬称略

話題提供：これまでの地震調査研究

松浦 律子（歴史地震研究会会長）

平田 直（地震本部地震調査委員長）

ディスカッション：これからの地震調査研究

モデレータ：

福和 伸夫（地震本部政策委員長）

パネリスト：

廣井 慧（京都大学防災研究所、地震本部広報検討部会委員）

神田 克久（株式会社小堀鐸二研究所、地震本部広報検討部会委員）

鎌谷 紀子（気象庁地震火山部地震津波監視課長）

杉原 英和（神奈川県建設業協会事業部長、神奈川県防災部局担当等を歴任）

中川 和之（時事通信社解説委員、地震本部広報検討部会委員）